

### Contents

Activities \_\_\_\_\_ 1~2  
 Information \_\_\_\_\_ 3  
 Activities \_\_\_\_\_ 4

【事務局】 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-37-4 友田三和ビル3F  
 TEL 03-3296-0769 FAX 03-3296-0779 URL <http://www.ajec.com/>

## Activities

### ◆ 第4期「編集講座」の実施要領決定 第1回講座は5月28日(木)に開講

今年で4回目を迎える日編協主催の「編集講座」が、下記の通り開催されます。今回は「基礎から学ぶ編集教室」と題し、大手出版社のベテラン編集者が基礎編から実践編までを年9回にわたり講義。全カリキュラムを受講した方には、協会から修了証を交付します。

この編集セミナーは、編集プロダクションで働く若手・中堅社員を対象に、年間企画の体系的な講座を開き、編集制作の知識や技術を習得してもらうために2006年から開催しているもので、これまでに「基礎編」、「実践

編」「応用編」を実施。各年度の全講座を受講した修了証取得者はのべ31人に達します。

第4期となる今回は、会員社から要望の多かった基礎編に実践編を加え、さらに内容の濃いものとなりました。第1回は5月28日(木)に元講談社の鷲尾賢也氏が良い編集者になるための原則を、第2回は幻冬舎編集長の鈴木恵美氏が企画力について、第3回は小学館出版局チーフプロデューサーの田中修氏がディレクション能力について講義。その後も新人・若手編集者が習得しなければなら



「編集講座」の受講風景

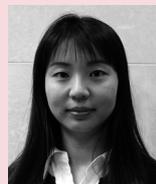
ない必須の講座が続くほか、10月に開催されるベテラン編集者向け拡大編集セミナー（講師3～4人による半日講義）にも参加できます。

講座は会員社以外の方でも受講できますし、スポット受講もあります。お申し込みは別紙申込書に必要事項をご記入の上、協会事務局にFAXをお送りください。ぜひ、新人・中堅社員の教育の場、情報交換や相互交流の場としてご活用ください。

### 第4期 編集講座「基礎から学ぶ編集教室」の実施要領

- 第1回 5月28日(木) 「いい編集者になるには? ~日常生活からマナーまで」  
講師: 鷲尾賢也氏 (評論家、元講談社)
- 第2回 6月18日(木) 「企画力と企画書づくりのポイント」  
講師: 鈴木恵美氏 (幻冬舎 第二編集局編集第一部 編集長)
- 第3回 7月16日(木) 「ディレクション能力の高め方 ~誰に、何を、どう頼むか?」  
講師: 田中 修氏 (小学館 出版局 チーフプロデューサー)
- 第4回 9月17日(木) 「いい原稿、悪い原稿の見分け方」
- 第5回 10月29日(木) 「売れる本づくりの秘密」 ※拡大編集セミナーと合同開催
- 第6回 11月19日(木) 「読者を引きつけるタイトル、見出しのつけ方」
- 第7回 1月21日(木) 「手に取ってみたいくなる造本の決め手 ~表紙・デザイン」
- 第8回 2月18日(木) 「実践 編集会議1 ~企画会議の進め方から出版社へのプレゼンまで」
- 第9回 3月18日(木) 「実践 編集会議2 ~企画会議の進め方から出版社へのプレゼンまで」

鷲尾賢也氏



鈴木恵美氏



田中 修氏

講師: 鷲尾賢也氏

講師: 鷲尾賢也氏

◆ 会 場: 日本教育会館 (東京・一ツ橋)

◆ 時 間: 午後6時30分~8時00分

◆ 受講費: 年間1人22,500円 (非会員31,500円)、スポット受講: 1回3,500円 (非会員も同一)

(講義内容や日程などは都合により変更となる場合があります)

## 第3期「編集技術講座」(2008年度) 受講者の感想

えんどう えな  
遠藤 恵奈さん

株式会社ブレンプール

編集の仕事に就いて2年が経ちました。専門学校では、ひと通り編集の勉強をしましたが、やはり現場との違いに戸惑うことも多く、まだまだわからないことだらけです。

そこで、少しでも自分の技術を向上させたい、プロの編集者のお話から自分でも参考にできることを見つけないかという思いで、「編集技術講座」を受講しました。

出版界の置かれている現状や、どのようにしてベストセラーを生み出したのかなどの具体的な事例から、編集者の在り方にいたるまで、講師をしてくださった編集者の言葉は、その一つひとつに経験や成功者としての重みがあります。特に印象に残っているのは、「2年後もある本を作る」「自分にとっての得意分野を持つ」など、編集者としての心構えを説いた言葉です。

さらに、今期は編集者だけではなく、書店の方にもお話をいただいたのが印象的でした。私たちが作った本を、読者に一番近くで売っている方から、売り場の工夫や売れる本の特徴などをうかがえたのは、とても良い経験でした。

これからも、たくさんの方々の話を聞いて自分の糧にしながら、精進していきたいと思っています。



きもと まゆ  
木本 麻由さん

株式会社タカオ・アソシエイツ

「誰に何を伝えるのか」

編集の世界に足を踏み入れたばかりの私が、1年間講座を受講してきたことです。講師の方々が日々向きあっていらっしゃる仕事は、ビジネスマンが相手だったり、子どもが相手だったりとはさまざまでしたが、皆さんが共通して「明確な読者像」とその「読者が求めているテーマ」を意識していらっしゃいました。どうすれば伝わるのか。多くの制約の中で知恵を絞り、その結果、私たちの知る成功へとつながるアイデアが生まれる体験談は、デザインやレイアウトといった具体的な技術が未熟な私が聴いても、編集という仕事の心構えや方向性という大きな道筋のようなものを見つける手助けになったと感じています。

今回の編集技術講座に参加できたことは、私にとって大きな幸運です。これから学ぶべき技術はたくさんありますし、経験すべきことも山のようにあると思いますが、それら乗り越えるための心構えを作るすばらしい機会を提供していただきました。編集という仕事の醍醐味を肌で感じる日を夢見て、日々前進していけたらと思います。ありがとうございます。



しざわ ようこ  
志澤 陽子さん

株式会社アーク・コミュニケーションズ

「別ジャンルにいる方たちのナマの声を聞いてよかった」というのが受講しての感想です。当然ですが、出版界には自分以外にもさまざまな立場の人がいて、違った目線の考えを持っている。講座に参加したことで、そのことを再確認し、自分の仕事を見直すきっかけとなりました。

講師の方たちの話はすべてが新鮮。下村綾子氏(宝島社)の「編集者は作家の視野を広げ、彼らの良さを引き出すのが仕事」、横田紀彦氏(PHP研究所)の「マイナスが多いほど、いつも以上に頭を使い、転じてプラスになる」、河野一郎氏(文藝春秋社)の「新聞にはできない、雑誌だからこそできることを描いていきたい」、柿崎隆氏(リクルート)の「意外な盲点となっている問いを見つけ出し、いかにわかりやすく解説するか」、猪俣幸子氏(柴田書店)の「端折られてしまっているが実は大事なこと＝読者が本当に知りたいことを解説すること」、湯本博文氏(学習研究社)の「頭で考えるのではなく、手で考える」、「蟹工船」ブレークの仕掛け人・長谷川仁美氏の「絶版になるかもしれない本を救えるのは、書店員」。これらの言葉を自分なりに咀嚼し、今後の仕事につなげたいと思います。



はやし えいこう  
林 英幸さん

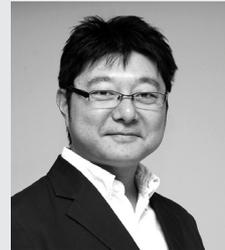
株式会社カルチャー・プロ

書籍・雑誌の制作現場のリアルな空気を感じることができ、貴重な時間でした。特に『週刊ダイヤモンド』の鎌塚正良編集長からは「過去の売り上げワースト企画」など、聞いていいのだろうかというようなお話もたくさん飛び出し、思わず身を乗りだして拝聴してしまいました。

振り返ってみると、この講座はありがたいお話もたくさんありましたが、自分の姿を映し出す鏡のような存在でもありました。さまざまな現場のお話を聞くと、「もしそこにいたら何ができるか?」と考えさせられ、自らに足りないところが見えてきます。帰り道は毎回いろいろ自問したものでした。

小学館出版局の大山邦興氏の、「自分たちは何が一番得意か、それを忘れては魅力あるものがない」というお話が耳に残っています。『R25』の柿崎隆編集長からも確か、同じ趣旨のことをうかがいました。編集プロダクションに最も求められている姿勢のひとつでしょう。

当社にも、これはウチしか引き受けられないだろうという得意技があると思っています。それをしっかり磨いたうえで、時代の変化を読みながら、その使いどころを賢く提案していくことが飛躍への道だと感じました。



## 2008年度の主な行事活動

- ◆4月9日 第40回 春季ゴルフコンペ  
4組15名が参加して開催（埼玉・狭山市／武蔵カントリークラブ）
- ◆4月24日 第1回 編集技術講座  
「新人がベストセラー作家に！『チーム・バチスタの栄光』の舞台裏」（講師：宝島社編集2局 下村綾子氏）
- ◆5月22日 第2回 編集技術講座  
「300万部のベストセラー『女性の品格』はこうして生まれた」（講師：PHP研究所新書出版部 横田紀彦氏）
- ◆5月27日 第26期通常総会・懇親会  
懇親会では創立25周年を記念し、永年会員12社を表彰（東京・神楽坂／日本出版クラブ会館）
- ◆6月12日 拡大協議会  
会員拡大や社団法人化について協議（東京・神保町／紅楼夢）
- ◆6月19日 第3回 編集技術講座  
「スポーツに、人は何を求めるのか？」（講師：文藝春秋『スポーツ・グラフィックナンバー』前編集長 河野一郎氏）
- ◆7月10日～13日 編集制作プロダクションフェア  
東京国際ブックフェア内に協会ブースを設置。会員社の展示作品の中から第3回日本編集制作大賞を選出（東京ビッグサイト）
- ◆7月24日 第4回 編集技術講座  
「ビジネスマンは今、本・雑誌に何を求めているか？」（講師：『週刊ダイヤモンド』編集長 鎌塚正良氏）



- ◆7月25日～26日 経営研修セミナー  
「編集プロダクションの周辺事業」をテーマにパネルディスカッションを実施後、(株)タカオ・アソシエツ社長の高雄宏政氏が「ニッチ分野を切り拓く編集プロのビジネスモデル」を講演。そのほか会員社の事例研究などを実施（山梨・笛吹市／ホテル やまなみ）
- ◆8月28日 一般書・企業出版合同部会  
ユニバーサルデザインについて勉強会を実施。冒頭、日本編集制作大賞の授賞式を実施（東京・四谷／出島厨房）
- ◆9月18日 第5回 編集技術講座  
「『R25』の人気の秘密を語る」（講師：『R25』編集長 柿崎隆氏）
- ◆9月25日 教材・デジタル合同部会  
学習指導要綱の改訂などについて意見交換（東京・神田／ふくるる）
- ◆10月2日 第41回 秋季ゴルフコンペ  
5組20名が参加して開催（茨城・美浦ゴルフクラブ）
- ◆10月30日 第5回 拡大編集セミナー  
編集技術講座の拡大版。「本の街・神保町を元気にする会」後援。講師は小学館取締役の大山邦興氏、岩波ブックセンター・信山社の柴田信社長、『ケータイ小説活字革命論』著者の伊藤寿朗氏、『プレジデントFamily』編集長の鈴木勝彦氏（東京・一ツ橋／日本教育会館）
- ◆11月13日 秋の例会  
採用活動の現状を(株)オフィス・サン



- タ社長の鈴木あきら氏が報告（東京・神保町／学会館）
- ◆11月20日 第7回 編集技術講座  
「10年、20年と重版する料理作りの秘密～“料理本の柴田書店”と言われるわけ」（講師：柴田書店書籍編集部部長 猪俣幸子氏）
- ◆12月11日 忘年会  
60名以上の会員社が集まり、一般社団法人の登記完了を祝う（東京・銀座／コートヤード・マリオート銀座東武ホテル）
- ◆12月18日 第8回 編集技術講座  
「科学ほど楽しいものはない～ものづくりはワクワクで始まる」（講師：学習研究社『大人の科学』元統括編集長 湯本博文氏）
- ◆1月15日 一般書・企業出版合同部会  
帝国データバンクの月舘堅氏が「帝国データバンクの上手な使い方」と題して講演（東京・神保町／新世界菜館）
- ◆2月19日 第9回 編集技術講座  
「大ベストセラー『蟹工船』のブレークの裏側」（講師：BOOK EXPRESS ディアラ上野店営業係 長谷川仁美氏）
- ◆3月18日 教材・デジタル合同部会  
神保町・つねかで開催
- ◆3月26日 第10回 編集技術講座  
「雑誌低迷時代でも、時代をつかめば魅力ある雑誌はつくれる」（講師：編集プロデューサー 工藤毅志氏）



## Admission

### 準 巖 真弓（個人会員）

**活動内容** エディター・ライターとして、美容健康系、旅行ガイド、フリーペーパー、料理本などの制作に携わる。ニューヨーク在住中は、現地コーディネーターとして取材・執筆活動をし、日本人向け観光ガイドブック制作、ニューヨーク在住の日本人向けフリーペーパー制作も行った。

**取引先** JTBパブリッシング、Y's Publishing co.,Inc.（在ニューヨーク）、ぶんか社、ケイ・ライターズクラブ、企業組合建築ジャーナル、大日本印刷、ほか

**特徴** よりよい制作物を創り出せるようフレキシブルかつ柔軟に取り組んでいます。単に取材→執筆だけの作業だけではなく、企画から掲載する内容のピックアップ・校正まで「制作」に関する一連の作業を行います。

## 新入会員社紹介

## 一般書・企業出版合同部会

一般書・企業出版合同部会が、1月15日(木)に東京・神保町の「新世界菜館」で開催されました。

景気が急速に悪化している昨今、クライアントの与信管理は大変重要になってきており、自社の評価がどのようになされているかを知っておくことも、新たな仕事を開発していく上で大切です。そこで今回は、帝国データバンク東京支社の月舘 堅氏をゲストに招き、「帝国データバンクの上手な使い方」をテーマにスピーチしていただきました。



約20名の参加者は、月舘氏の話に熱心に聞き入っていました。

1  
15

## 第3期 編集技術講座 (第9回、第10回)

第3期「編集技術講座」(応用編)の第9回講座が2月19日、BOOK EXPRESS ディアラ上野店の長谷川仁美氏を講師に迎え、開催されました。長谷川氏は昨年『蟹工船』ブームを生み出した書店員。「どうすれば本は売れるのか?」「POPの



「蟹工船」ブレイクの火付け役である長谷川仁美氏

重要性」など、日頃の取り組みについて説明。参加者からは、「制作側と書店員の意見交換ができて実りある講座だった」との感想が寄せられました。

また、3月26日の第10回講座には、「マリ・クレール ジャパン」や「家庭画報 INTERNATIONAL EDITION」などの編集長を歴任した編集プロデューサーの工藤毅志氏(元・角川書店取締役、元・世界文化社国際局長)が、「雑誌低迷時代でも、時代をつかめば魅力ある雑誌はつくれる」と題して講演。その後、日本教育会館にある「レストラン喜山」で懇親会を開催。全カリキュラムを受講した人に修了証が授与されました。

2  
19 3  
26

## 教材・デジタル合同部会

教材・デジタル部会が、3月18日(水)に東京・神保町の「つねか」で開催されました。今回は、インターネットや携帯などのIT分野で活躍する(株)アクア・ヴィ

ーテ社長の塚田英仁氏をゲストに迎え、「デジタル事業の面白さと落とし穴」について話してもらいました。その後、参加者同士で意見交換が行われました。

3  
18

事務局  
便り

当協会は昨年12月に、一般社団法人日本編集制作協会として新たなスタートを切りました。この社団化に伴い協会規約が改定されましたので、詳細はホームページ(<http://www.ajec.com/ajec/main4.html>)をご覧ください。

また、会計処理も変わり、たとえば

個人への支払いには源泉徴収が必要となります。このため協会の経理は、例年の講師などをお務めいただき、社団法人の税務にも詳しい税理士の今村正先生にお願いすることとなりました(この費用は先の通常総会で税理士顧問料として予算計上されています)。

そのほか、協会の預金口座も下記の通り変更しましたので、お振り込みの際はご注意ください。

三菱東京UFJ銀行 神田支店(普) 店番331 口座番号0000316

一般社団法人日本編集制作協会

(事務局長 高雄宏政)



地球環境保護のため、用紙などの材料と全工程で環境に配慮した印刷物です。  
P-B 10048

## 告知

毎年恒例の「AJEC春季ゴルフコンペ」を4月16日(木)に埼玉県森林公園ゴルフ倶楽部で開催します。奮ってご参加くださいますようお願いいたします。

### <春季ゴルフコンペ>

- 日時: 4月16日(木)
- 場所: 森林公園ゴルフ倶楽部  
埼玉県大里郡寄居町牟礼1132  
電話: 048-582-3211
- 定員: 5組20名
- 集合: 午前8時30分(9時スタート)
- 会費: 7,000円(コンペ費用)

## お知らせ

### ■関西支部発足

日編協はこのほど、関西圏の編集プロダクションの会員拡大、連携強化を目的に、会員社である(有)マイプランの丹羽眞生社長のご協力を得て、関西支部を発足しました。支部の住所・連絡先はマイプランの所在地・電話番号となり、支部長は丹羽氏が就任します。

住所 〒661-0003 兵庫県尼崎市富松町1-37-15 2F (有)マイプラン内  
TEL. 06-4961-2468 FAX. 06-4961-8200

### ■通常総会の日程決定

第27期通常総会を5月22日(金)午後5時から東京・神楽坂の日本出版クラブ会館で開催します。総会終了後は同会場懇親会を開催しますので、賛助会員、準会員の皆様もぜひご出席ください。

- 日時: 5月22日(金) 午後5時00分  
懇親会 6時00分～(参加費無料)
- 場所: 日本出版クラブ会館